

学校メンタルヘルス特論（選択・講義2単位）[教職（保健・養護教諭）必修] 佐々木 司

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標：

子どもの心理発達とその障害、精神的健康とその障害に関する基本的知識をしっかりと身につけること、その知識を背景にメンタル面に関わる保健室経営と健康相談活動を「プロ」の質まで高めることが目標である。

授業の概要：

学部で習った精神保健に関する知識の復習とより正確な知識の習得をまず進める。その上で、学校現場で必要となる、子ども達の精神的健康と障害の評価、発達障害の評価をどのように行うか、問題を疑った時の子どもと保護者への対応、他の教職員との連携、子ども・保護者・教職員の精神保健知識の向上にどのように取り組むか、医師など専門家との連携をどうしたら良いかについて学ぶ。いずれも講義と論文講読、ディスカッションの形式を織り交ぜて進める。

【授業計画】

- ① 学校精神保健総論
- ② 子どもの発達・障害と関連要因
- ③ 精神疾患の発症年齢と頻度、経過、主な症状
- ④ 精神的健康の評価
- ⑤ 睡眠、睡眠障害と起立性調節障害
- ⑥ 過呼吸症候群、不安症、適応障害
- ⑦ うつ病・双極性障害と関連疾患
- ⑧ 統合失調症、自閉スペクトラム症と ADHD
- ⑨ 摂食障害と依存症
- ⑩ 早期発見・早期対処と精神疾患教育
- ⑪ 出来ることをする：保護者・教員対応
- ⑫ 保健室経営とスクールカウンセラーとの連携
- ⑬ 精神科医との情報共有を続けるには
- ⑭ 学校精神保健総論：学習内容の確認

【授業外学習】

授業テーマに関係する論文の読解を宿題として課し、授業理解の進展に活用する。

【成績評価の方法・基準】

授業への参加度（40%）、宿題（レポート）の評価（30%）、最終回のテスト（30%）

【教科書】

特になし

【参考書】

佐々木 司・竹下君枝：著、精神科医と養護教諭がホンネで語る思春期の精神疾患（少年写真新聞社）

【教材】

他の教材はその都度知らせる（または配布する）。

【備考】

授業は、講義、ディスカッション、模擬実習を組み合わせで行う。いずれの場合もノートは必ずとること